

経験から学ぶ力を育てる

■講師



塩崎 俊彦(高知大学 大学教育創造センター 教授)

昭和 62 年 3 月、上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専攻、日本文学。2007 年より高知大学大学教育創造センターで、FD 研修プログラムの作成・実施や授業支援に取り組む。総合科学系地域協働教育学部門教授。

■プログラム概要

学生の自発的な学びを促すためにアクティブ・ラーニングを導入した大学の授業が注目されています。インターンシップ等の学外での学びの機会も増えてきました。あるいは、スタッフ・ポートフォリオなどで自らの業務を振り返りながら、今後の改善に繋げていく試みも見られるようになってきています。これらに共通しているのは、いずれも経験から得られた気づきをもとに次のアクションを起こす、という考え方です。

この研修では、グループワークとその振り返り通じて、経験のプロセスを見ることと、気づきを得るための振り返りについて、体験を通じてどのようなことかを理解していただくことをめざしています。

研修の多くの時間がグループワークに充てられますが、はじめての方も歓迎します。

1. アイスブレイク
2. グループワーク: 30分程度の課題達成型のグループワークを行います。
3. グループワークの振り返り
4. ミニ講義:「経験、プロセス、振り返り」

■主な受講対象

- ・授業にアクティブ・ラーニングの要素を導入している／しようと思っている教員。
 - ・振り返りを職場の業務に活かしている／活かしてみたいと思っている職員。
 - ・インターンシップなど課外の実習を学生の成長に活かしたいと思っている教職員。
- ※2時間の研修のほとんどがグループワークとなりますので、あらかじめご了承ください。

■本プログラムの到達目標

1. アクティブ・ラーニングの二類型が説明できる。
2. グループワークを通じて気づいたことを他者に説明できる。
3. 経験から学ぶためのポイントを説明できる。

■日時・会場

日時: 平成28年8月24日(水) 13:00～15:00

会場: 愛媛大学城北キャンパス